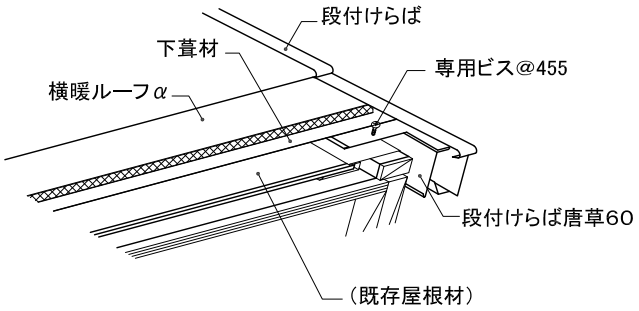
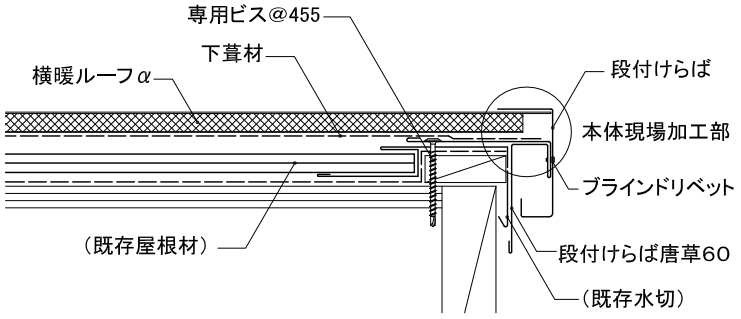
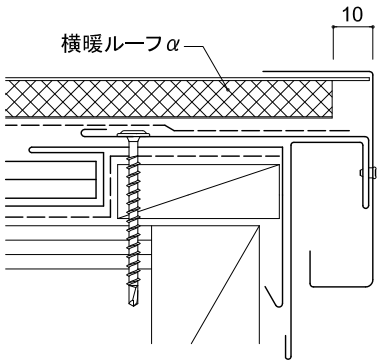
横暖ルーフα	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

5）けらば部　｜　③段付けらば唐草60＋段付けらば

●段付けらば唐草60は専用ビス（ステンレスドリルビスφ4．4㎜×55㎜）を用いて、455㎜以下の間隔で留め付けます。
●下葺材を張り、横暖ルーフαは専用ビス（ステンレスドリルビスφ4．4㎜×55㎜）を用いて、455㎜以下の間隔で垂木に施工します。
●段付けらばは、けらば小口にかぶせるように取り付けます。その際、軒先から「段付けらば軒先」を施工し、以降「段付けらば」を使用して施工します。
●「段付けらば軒先」および「段付けらば」は側面の穴からブラインドリベットで留め付けます。



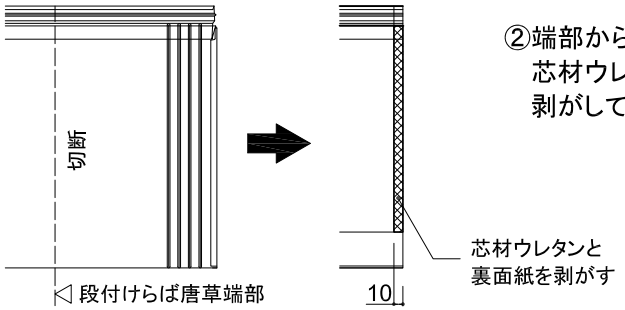




部分断面図

■施工ポイント・現場加工図
●横暖ルーフα本体のけらば部分は、図のように加工します。

①段付けらば唐草の端部となる位置を切断します。



②端部から10㎜の位置まで芯材ウレタンと裏面紙を剥がしてください。

●段付けらばは図のように軒先からかぶせるように取り付けます。
軒先は必ず小口付の「段付けらば軒先」を使用してください。

※「段付けらば」「段付けらば軒先」は形状が左右で逆になります。
必ずご確認の上、施工してください。

